

ここまち



来年、2022年4月、相模原市に夜間中学が開校します。

市立大野南中学校の分校として、県立神奈川総合産業高等学校がその校舎となり、県内3校目の公立夜間中学です。

〈あつぎえんぴつの会〉が運営する自主夜間中学のボランティア講師をされている元・文部科学事務次官で、現在は「現代教育行政研究会」の代表である前川喜平さんをその事務所に訪ね、夜間中学について語っていただきました。

人と地域がつくる夜間中学から教育が見える

普通教育という権利にこたえる夜間中学

事務次官を退任されてから厚木の自主夜間中学でボランティアの先生をされていたそうですが、文部行政に携わっていた前川さんにとって、夜間中学というのはどのようなところでしょうか？——

金儲けには向いていないし。心の豊かさを考えられると、1979年に文部省に入りました。初めに担当したのが陳情の下交渉役で、夜間中学関係者の陳情を知って行政の怠慢を感じたし、何とか夜間中学の応援をしたいという気持ちを若いころからずっと抱いていました。

夜間中学は新制学制の発足とともにずっと存在しています。1955年の全国で90校というのが数のピークだったのでしょうか。戦後生活のなかでは子どもたちは昼間学校に通えなかったのです。それで、地域が夜間中学・学級を必要とした。当時から文部省は15歳までは親の就学義務をいって、認めたがりません。夜間中学は、草の根レベル、地域レベルで始まっているのです。

60年代後半になると経済成長のなかで転換が起きて、20校ほどに減り、生徒の側も変わっていきます。生徒は学齢期の子どもから大人に変わりました。70年代以降、残留孤児とその家族が中国から帰ってくる。やがて90年代に入ると中国に限らずアジアの方が増えていきます。現在、全国で36校があり、その8割は外国人の方です。しかし、潜在的な学習希望者はもっといます。90年代になると、除籍でのぞんでいた不登校の子どもたちに卒業証書を出すようになりました。それまでは、夜間中学に居場所を求める現役の中学生もいたのです。それが、中学は卒業しているけど学力はないという形式卒業生をつくりだす。「義務教育」というと15歳までで、大人が学ぶには公民館とかの社会教育があります。それはその通りだけど、憲法26条第2項は「普通」教育という言葉を使っています。全ての国民は普通教育を受ける権利を持っていて、15歳でその権利が消滅するわけではない。

学びたい学びのあるところ

地域や市民側の必要から生まれて学校制度の不備を問う夜間中学は「教育」をどう拓くのでしょうか？——

義務教育制度に不備があって、そこからこぼれる人たちが

がいます。生活のためにかつての義務教育を受けられなかった、十分な教育を受けないまま日本に来て暮らしている、そして、不登校のまま学びの場を得られなかった人たち。2015年7月の文科省通知によって、形式卒業者に夜間中学の門が開かれ、2016年12月に「教育機会確保法」が成立します。文科省の抵抗勢力もありましたが、私が初等中等教育局長になってやれたやりたい仕事でしたし、2014年に超党派でできた二つの議員連盟と当時の馳浩衆院議員の成果でしょう。この法律によって、全国都道府県、政令都市に少なくとも1校の夜間中学の設置が進められることになりました。

神奈川では、もともと横浜市には5校夜間中学がありましたが、現在は1校のみで、あと川崎に1校、相模原市に3校目が開校されます。神奈川にあと3校は欲しいです。それも県立で。横浜市も法律ができたので1校は残っていますが、5校に戻してほしいと思っています。夜間中学は、多様な生徒の必要に応じて学びがあるので、学習指導要領の通りに学ぶことはできません。小学校で学ぶ漢字は千字ほどありますが、生活基本漢字381字とは違います。それこそ多種多様な状況にある生徒たちの学びを支える市民の支援が必要になるでしょう。川崎市の実際などに学んでくれるといいですね。中学校らしくとか言い始めたら、夜間中学の本質が壊されてしまいます。

学びたい人が歴史をつくっていく

夜間中学と不登校特例校を一つの学校にすることにより、来年、香川県三豊市に新しくできる夜間中学では、初めから大人と子どもと一緒に学ぶようになっています。ゆとり教育世代が学力が低いといわれますが、完全なデマで、これまで国際学力調査で一番成績の良かったのがゆとり世代です。国家による教育ではなく、国民の教育だと考えます。22世紀の子どもたちの未来に思いを馳せ、歴史は必ず良くなるだろうと思っています。



現代教育行政研究会事務所（目黒区）にて 前川喜平さん



Q どこにできるの？

相模原市にできる夜間中学。1 ページの前川氏のインタビュー記事にある通り、夜間中学は新学制が敷かれたときから存在してきました。しかし、その存在を知り、関心を寄せてきた市民は限られていました。夜間中学が社会のあり方を映し出してその役割を変化させてきたことを知ると、このまちに新設・開校される夜間中学について理解を深めることは、多様性を大切にするまちづくりに欠かせないものだと考えています。肝心の夜間中学を必要とする人にこの情報が伝わりにくいということがあるだけに、市民の情報としてまとめ、地域の支えをつくりたいのです。そこで、相模原市教育委員会の学校教育課をお訪ねして、お話を伺ってきました。そのときいただいた情報をいくつかまとめてみました。もっと知りたい方は、こちらへ。

令和 4（2022）年 4 月に
市立大野南中学校の分校としてスタート

4階が夜間中学の教室になります。
2,3 階は定時制高校生が利用する教室です。

県立神奈川総合
産業高等学校が校舎

食堂があって
利用することも検討中。

校舎はエレベーター付き
バリアフリーの校舎だよ。

授業料なし
教科書ただ

ただし、ワークなど補助教材や
遠足など行事費用はかかります。

Q いつ勉強するの？

月～金毎日
4時限

公立の中学校ですから、昼間の中学校で学ぶ教科はすべて勉強します。昼間の中学校で1年間 1,015 時間学ぶところをカリキュラムを編成しなおし、だいたい 700 時間程度にしますが、ひとりひとりの事情にあわせて、日本語の授業を増やしたり、小学校でつまづいた部分を習ったりします。始業前の補習タイムもそのためのもの。もちろん、公立中学校の先生が指導します。

入学理由	日本国籍のある者	日本国籍のない者
中学校の学力を身につけたい	132	112
中学校を卒業したい	69	128
高校に進学したい	67	217
読み書きができるようになりたい	53	254
日本語が話せるようになりたい	18	654
職業資格を取得したい	5	11
日本文化を理解したい	1	5
その他	0	3
合計	345	1,384

夜間中学の1日(予定)	
16:25 ~ 17:10	始業前授業(希望者のみ)
17:15 ~ 17:25	学級活動
17:30 ~ 18:15	1時間目(45分)
18:20 ~ 19:05	2時間目(45分)
19:15 ~ 20:00	3時間目(45分)
20:05 ~ 20:50	4時間目(45分)
20:55 ~ 21:00	学級活動

Q 入学まで どうすすむの？

こんなタイム・スケジュールで開校・入学が計画されています。
あなたの周囲に学びに夢を託している方がおいでではありませんか？



夜間中学で連携協定を

2021年9月7日、相模原市と市教委は、神奈川県、県教委と連携協定を結びました。この協定によって県立高校の校舎利用や教員派遣など、夜間中学運営のために具体的な連携をはかることができます。今後、近隣市町村・教委とも同様の連携協定を結んでいくことで、相模原市民に限らず夜間中学の門戸を他市にも開いていくことができます。連携協定による仕組みづくりは、全国的にも初めてで、学びを保障する夜間中学の運営に、先進的な一石を投じることになりました。

のだと考えています。肝心の夜間中学を必要とする人にこの情報が伝わりにくいということがあるだけに、市民の情報としてまとめ、地域の支えをつくりたいのです。そこで、相模原市教育委員会の学校教育課をお訪ねして、お話を伺ってきました。そのときいただいた情報をいくつかまとめてみました。もっと知りたい方は、こちらへ。

と あ さき さがみはらし きょういくいんかい がっこうきょういくが
問い合わせ先 ●相模原市教育委員会学校教育課
☎042-704-8918



このまちによろそ! 夜間中学。

Q どんな子が行けるの？ 行くとどんないいことがあるの？

- ①ぎむきょういくを しゅうりょうしないままがくれいきを すぎてしまったひと
- ②いろいろなりゆうで べんきょうが じゅうぶん うけられないまま そつぎょうしたひと
- ③がいくせきで にほんの ぎむきょういくにあたる べんきょうを うけられてないひと など

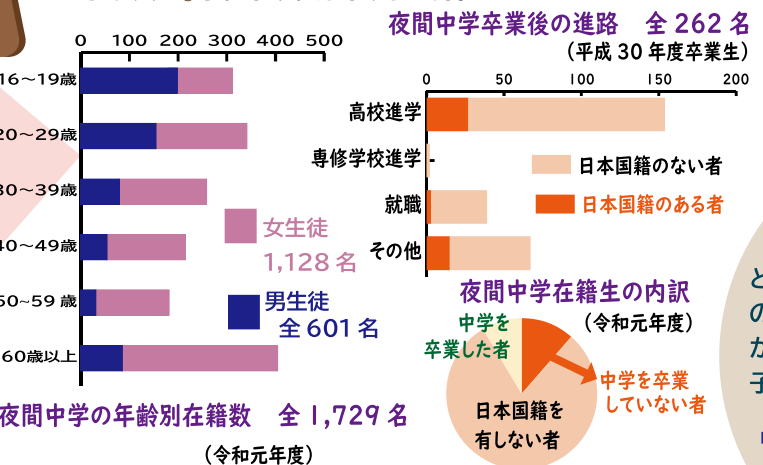
※昼間の中学からの転校は認められていません。
● 学齢期を過ぎているからです。

原則3年間（ひとりひとりの事情に応じて短いことも長いこともあります）、夜間中学に通い、中学程度の学習内容を身に付けると中学校の卒業証書が与えられます。

中学を卒業すると、高校や専門学校に進学できますし、もっといろいろな仕事につくこともできるようになります。

不登校などで中学校の勉強をちゃんとしないまま卒業証書だけもらったという人にも夜間中学の門戸が開かれたので、中学校の学びに再チャレンジして実質的な卒業を勝ち取ることができます。

県内にある夜間中学では、多くの卒業生が進学や就職しています。なかには、70歳を過ぎた現役高校生もいるとのこと。いくつになっても学ぶ喜びを取り戻せたなら、もっともって学びたくなるのが人情でしょう。だからこそ「学ぶ権利」はだれにでもあり、守られなければなりません。



中学校の 卒業証書

夢や目標を 応援する

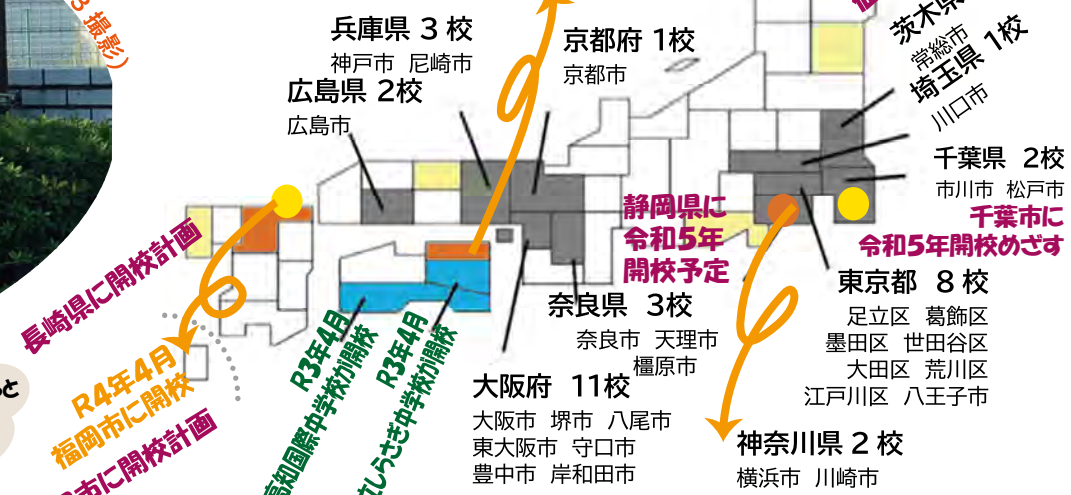
Q 全国ではいくつあるの？

令和3年（2021年）4月現在 全国の夜間中学は36校。
相模原市の夜間中学は、政令都市としては8校目、
神奈川県では3校目の公立夜間中学になります。

R4年4月
札幌市に開校

高知と徳島で県立の夜間中学が今年4月に開校したほか、まだまだ無設置の空白県が多いものの、長崎県、大牟田市、静岡県、千葉市、仙台市と設置計画が進められています。市民のニーズがあるからこそ、です。

R4年4月
香川県三豊市に開校



R3年4月時点の全国夜間中学設置一覧

R4年4月
相模原市に開校

子どもたちの成長を市民がサポートするもうひとつの方法

里親になるという選択

コロナ禍は、家にこもる時間を増やしましたが、その結果、児童相談所への相談件数も増やしています。つまり、家族や家庭生活を見直し考える機会が増えたとも言えるようです。

様々な事情で親と暮らせない、一時的な保護を必要とする、そんな子どもたちがいます。欧米では、施設ではなく家庭で預かり育てる考え方が一般的ですが、日本では、里親の数も少なく、家庭（里親）よりも施設で育つ子どもが多くなっています。今年8月末現在、相模原市の要保護児童数237名の内、児童養護施設129名、乳児院13名、他50名で、里親家庭・ファミリーホームで暮らしている子どもは45名です。「さがみの里親会」には、64組の会員がいて、厚労省も里親重視に進んでいますが、まだまだ足りません。

子どもに対する愛情と理解があれば、子育て経験があってもなくても里親になれます。共働きでも OK。里親登録には、左上の8段階の研修・手続きが必要で、研修や登録は4月と10月の年2回行われています。

「子どもがいるからこそ世界が広がる、わが家に来てくれた子どもたちには感謝しかない」とは、里親会の会長・叶登世美さんの実感のこもった言葉。叶さん自身、現在、5歳と18歳のお二人のお子さんと暮らしています。児童福祉法に基づく里親家庭には、国と地方自治体から養育費の支給もあります。私たち市民も「社会的養護」の考えを深め、地域が一体となって、子どもたちの成長をサポートしたいものです。

里親についての問い合わせ
相模原市児童相談所
☎042-730-3500

子どものいる暮らしで わたしたちも変わる

#モリカケに今度は菅の親子丼 の作者・熱田和博さん (中央区宮下本町在住、69歳)

親子丼は二階で酔い潰れ
吹き出したヨコハマ黄昏管おろし
その技で爆弾落とすやインパルス
運動会やめた僕らが観る五輪
骸骨が睨みつけてる埋め立て地
外苑のクラスが知ってる壮行会
米軍のフェンス越えてゆく紋黄蝶
熱田さんの川柳通信から抜粋



熱田さんは2020年3月に相模原市内小学校の図工専科の非常勤職を最後に長きにわたる教職をリタイヤ。その名の通り、在職中は熱血先生でしたが、ご本人曰く「在職中は、いわゆる運動をしていた訳ではなく、子どもたちにいい授業をしていくことが社会的メッセージを伝えていくことにもなると考えていた」とのこと。

教育の実践を最優先に考えていた熱田先生が教師を引退して社会との関りがなくなってきたと感じていた今年初め同

じ教員仲間から届いた年賀状に触発されることになります。そこにあった「川柳をつくっている」の一言。高校時代に短歌の創作体験があり、川柳作家の鶴彬（つる・あきら）氏に傾倒していたこともあって、短歌とは違った魅力のある時事川柳をつくり始めることに。と同時に、東京新聞に川柳投稿したり、隔月で作品をまとめた川柳通信を発行して身近な方に届けるようになりました。

川柳をつくるようになって、“川柳脳”が生まれた気がする、と熱田さん。絵を描くときは“絵画脳”になって、ものの形や色がしきりと目につくが、同じように“川柳脳”になると世の中の本質が見えてくるような、社会を見る視点が変化してくる気がする、と。川柳は落書きだと思いが、社会の不正に対するレジスタンスが

込められていると言われます。▲落のイラストも熱田さん-画

今年2月、東京新聞の時事川柳欄に採録された一句「モリカケに今度は菅の親子丼」は、若い人をたちを含め共感を呼んでtwitterでは、ハッシュ・タグ（#）が付けられて拡散されるなど、SNSで大きな話題となりました。同じ思いの人たちが多くいると知って、改めて川柳の社会をうがつ役割を考えることになった熱田さん。不正のあふれる世の中に川柳の一句を投げつける、熱田さんの“川柳脳”の活躍をさらに期待したいです。(連絡先: morikuma1210@gmail.com)

島田茂実行委員長(左)と
稲毛易子(右)上鶴間公民館長



隠れた地域の歴史をひもとく コロナ禍のひと散策に最適の道案内マップ♪ ～かみつるま てくてくマップ～

地域の歴史を語り継ぎ、愛する気持ちを伝えたい——その思いを地図づくりに託してできあがった『かみつるま てくてくマップ』が評判を呼んでいます。コロナ禍における手軽なお散歩マップとして、そして、子どもたちにもわかりやすい地域を知る手軽な素材として。

マップづくりの実行委員長となった島田茂さん(上鶴間本町在住、81歳)は、職場と自宅を往復するだけで上鶴間のことを何も知らなかったといいます。退職

後、上鶴間で生涯を過ごした阿部種雄さんの語りで地域を知ることになったそうです。昨年、阿部さんが102歳で逝去。その郷土愛を継いで何かできないかと思案されたとのこと。集結した8人でコース別に分担、大野南地区の歴史探索に取組みます。それが〈Aコース:人々の暮らしの歴史を作った境川〉〈Bコース:昔の暮らしと祈り巡り〉〈Cコース:歴史の坂道神社お寺鎌倉道〉〈Dコース:軍都から近代都市へ〉の4コース。

地域活性化事業交付金を活用し A2判のイラスト・マップを印刷。近隣の小・中

学校に寄贈し、南区役所行政資料コーナー、上鶴間公民館の窓口で希望者に配布しています。また、上鶴間公民館を拠点に、ウォーキングも企画。コースを歩きながら地域ガイドも養成しようとされています。すでに4、7月と実施、四季にそれぞれのコースを堪能して1年かけて一巡できるように、今後は11月と1月にも実施を予定しています。問い合わせは上鶴間公民館 ☎042-749-6611へ。

コロナ禍に家にこもるばかりでなく、身近な暮らしの中に歴史を訪ねる散策をマップ片手に楽しむのはいかがでしょうか?

Information

ここdeシネマ第18回は来年3月5日(土)

次回上映作品は—

昼・夜の部
2回上映予定 後日詳細

ドキュメンタリー映画
2020年制作/104分/日本

戦車闘争
SAGAMIHARA YOKOHAMA 1972-20XX

会場:南市民ホール

このまちで 起きたことだから 知りたい……

NPO法人ここぞつとは
市民相談窓口を開いています。相談は☎042-745-0676へ。

『フリー情報紙 ここぞたうん』 No.20

【発行日】2021年10月

【発行者】NPO法人ここぞつと

〒252-0303 相模大野9-6-18
ここぞたうん編集室



ご意見、投稿、記者志望者は
ここぞたうん編集室へ

【TEL】042-745-0676 【FAX】042-742-0447

【E-mail】info@cocozutto.jp

※ここぞたうんはまちづくりを考える【NPO法人ここぞつと】が発行しています。

▼片面はイラスト・マップで、片面は史跡解説になっています。
子どもたちにも優しい総ルビ付き。水彩イラストは、西田周三さん。

